

まちの話題

空手で全国大会出場

6月22日、日本空手協会直方北支部大志館所属の選手6人が、県大会で優秀な成績を修め、全国大会に出場することを報告に、市長を表敬訪問しました。

県大会で優勝し一般の部に出場するのは石田一樹さんと吉田果蓮さん。石田さんは組手の部に出場し、「優勝カップを持ち帰る」ことを目標に戦いに挑みます。形の部に出場する吉田さんは「親孝行できるように頑張ります」と目標を語りました。また、舩田豪太さん（感田小4年）、寶部栞音さん（感田小4年）、田中さくらさん（新入小5年）、松岡あい梨さん（感田小6年）は組手と形の両方の部で出場します。みなさんベストを尽くし優勝を目指したいと、目標を語ってくれました。



ソフトテニスで全国大会出場

6月23日、新入小6年原桃羽さんが、第39回全日本小学生ソフトテニス選手権大会に出場することを報告に、市長を表敬訪問しました。

直方ジュニアソフトテニスクラブに所属している原さん。県大会ではペアの谷口さんとともに準優勝に輝きました。

年長のころからソフトテニスを始めて経験は丸6年、ペアの相手とは小1から組んでいます。全国大会では「今まで練習してきたことを活かして、ペアと協力して精一杯頑張りたい」と笑顔で話し、市長は「精一杯頑張つて、全国的に活躍してほしい」と激励しました。チームのみんなを信じて一つでも多く勝ち、団体戦も頑張ります。



新入小5年生の食育学習

6月、新入小学校5年生（57人）が「アイガモ米」を通じた

食育と健康を広める取り組みとして、田植え体験・アイガモ放鳥体験を行いました。

毎年新入ブザーグラー市場主催で行われている取り組みで、今年は市がフレンドリータウンとして協定を結んでいるグラヴァンツ北九州が「シャレン！（社会連携活動）」の一環として参加し、田植えにはマスコットのギランも駆けつけ子どもたちを応援しました。



田んぼに入った子どもたちは泥だらけになりながら、丁寧に苗を植えていました。初めて田植えをしたという北野煌柊さんは、「楽しかった。稲が育つのが楽しみ」と話しました。

翌週に行われたアイガモの放鳥体験では、体長約15センチのヒナ50羽が一羽ずつ子どもたちの手から水の中に放たれました。



秋には同チームの選手も参加して稲刈りをし、収穫したお米を使って調理学習をする予定です。グラヴァンツ北九州の中村亮二さんは「収穫したアイガモ米はスタジアムで販売し、スタジアムの大型ビジョンで動画も流す予定。継続的な事業になれば」と話しました。

株式会社ダイナムと一時避難所としての協定を締結

6月28日、株式会社ダイナムと災害時における一時避難所としての使用に関する協定が結ばれました。



市では大規模災害が発生またはその恐れがある際、市民の安全確保、新型コロナウイルス感染症対策として分散避難の呼びかけを行っています。今回の協定は上新入にあるダイナム福岡直方店ゆったり館の駐車場の一部を車中泊スペースとして使用すること、トイレ、



市のホームページでは、
この他の話題も公開しています。



水道施設の開放について定めた
ものです。

同日市庁舎で行われた調印式
では、市とダイナムの関係者が
出席し、店舗エリアマネー
ジャーの中村孝徳さんと大塚市
長が協定契約書を取り交わしま
した。

同社では企業活動を通じて地
域社会と共生し、地域の一員と
して積極的な社会貢献活動を実
施しています。市長は「有事の
際、避難所でもスペースをとる
ことが必要になっている中で、
地域ごとに安心して車中泊でき
るスペースがあると助かる。今
後もいろいろと社会貢献してい
ただけるとありがたい」と感謝
を述べました。

多文化共生社会の実現を応援 ワタナベテクノスより寄附

6月27日、飯塚市の株式会社
ワタナベテクノスより企業版ふ
るさと納税として100万円の
寄附があり、市庁舎で感謝状の
贈呈式が行われました。

同社は発電機の防音カバーを
専門に製造を行っている会社
で、代表の渡邊学さんが直方市
在住という縁で寄附をいただき
ました。同社ではデータセン
ター事業にも関わっており、本

市も県と誘致を進めていること
から、「何か直方にお返しので
きないか」と本市へふるさと納
税をされました。

同社ではベトナムでの事業展
開を進めるため外国人従業員を
採用しており、渡邊代表は「多
文化共生社会の実現のため、役
立てて欲しい」と話しました。
市長は「寄附いただき、大変あ
りがたい。御社には防音での社
会の住みや
すさや環境
づくりを頑
張っていた
だきたい」
と感謝を述
べました。



郷土愛でのおがたを応援 田代コンサルティング より寄附

7月1日、株式会社田代コン
サルティングより企業版ふるさ
と納税として200万円の寄付
があり、感謝状の贈呈式が行わ
れました。

同社は人事コンサルティング
事業を行う東京都の会社で、本
市出身の田代英治代表の郷土愛
から今回の寄付をいただきました
。田代社長は「ふるさとに寄

附したいという想いがあった。
継続していくことを励みに頑
張っていききたい」と話しました。
SDGsに興味があり、その事
業に取り組んでもらいたいとの
ことで、この寄附金はカーボン
ニュートラルの推進に活用され
る予定です。寄附に対して市長
は「想いに恥じない事業を行っ
ていきます」と感謝しました。

昨今のリモートワークの普及
が与える仕事や生活への影響に
より、リモートでできる仕事は
直方でやっていきたいと、2拠
点生活も考
えている社
長。「これを
機に故郷に
協力できる
ことをして
いきたい」
と想いを語
りました。



脱炭素セミナーに 市長が登壇

7月8日、九州環境エネル
ギー産業推進機構主催の第
140回エコ塾に、大塚市長が
登壇しました。4月に北九州都
市圏域として脱炭素先行地域に
選定を受けたことなどをきっか
けとして、直方市における脱炭

素（カーボンニュートラル）に
ついての決意表明を行いました。
講演で市長は「産業革命、近
代化を支えた石炭産業で栄えた
まちとして、脱炭素・カーボン
ニュートラルはエネルギーの消
費速度の問題だと捉えている。
脱炭素社会の実現に向けて、ス
ピード感を
持って、自
然由来の太
陽光を始め
とする再生
可能エネル
ギーの促進
を図ってい
く」と話し
ました。



花公園キッズスペース オープン

リニユーアルした福智山ろく
花公園では四季の花々が楽しめ
るだけでなく、広々とした芝生
広場や、雨の日でも楽しめるこ
ども用のトラ
ンポリンやボ
ルダリング設
備があります。
家族みんな
で楽しめる花公
園にぜひお越
しください。

